

## 2025年度第3回豊岡市環境審議会 会議録

日 時：2026年2月6日（金）13時30分～16時00分

会 場：豊岡市役所本庁舎2階 大会議室

出席した委員：山室敦嗣（会長）、西垣由佳子（副会長）、安藤有公子、川見絵里香、  
黒田和真、島崎卓也、田原美穂、野世英子、増原直樹、水嶋弘三、  
村田美津子

欠席した委員：飯田勇太郎、木築基弘、山下正明

事 務 局：コウノトリ共生課 課長 宮垣 均

課長補佐兼係長 竹内有子、主任 戸田早苗

脱炭素推進室室長 原田弥寿久

（注）会議録は、発言内容を一言一句正確に記録したものではありません。発言内容をもとに一部表現（文言）を変えて表記している箇所があります。

### 1 開会（進行：事務局）

- ・会議の公開、傍聴の許可、会議録の公表、配布資料の確認

### 2 あいさつ

- ・山室会長より挨拶

### 3 協議（進行：山室会長）

#### (1) 2024年度環境報告書について（審議）

##### ア 第2部「目標とする姿」への取組み状況

【会 長】環境報告書「第2部 目標とする姿への取組み状況」について審議を行う。

【事務局】「第2部」については、前回会議及び正副会長との事前打合せでいただいた意見を踏まえ、修正した箇所を説明する。

全体に関して、指標の変化を2009年度から2024年度まで掲載していたが、グラフが細かくなり数値が見えにくいとの意見があったため、「第4部」実績と同様に2010年度から2024年度までの15年分に統一し、グラフを差し替えた。それ以降に開始した事業については、指標の開始年度が異なる。あわせて、本文中の記載も2010年度から2024年度に修正した。

##### <目標像①>

「分収造林」について、県ホームページに掲載されている市内の契約状況（件数・面積）を参考として追記した。

「(5)森林環境譲与税の使途」について、これまで1年遅れで記載しており、2023年度報告書には2022年度までを掲載していたが、2024年度の使途が公表された

ため、グラフと本文を更新した。

トピックスは、担当課と調整し「雪害倒木に関する伐採」に変更した。

<目標像②>

トピックスの写真を、作業前後が比較できるものに差し替えた。

<目標像③>

「(4)農業スクール研修生」のグラフから卒業生の累計を削除した。

<目標像④>

「(5)清掃活動」について、前回会議で活動事例の紹介記事に変更について了解を得たため、掲載記事を作成いただける団体の調整を行った。浜清掃については、港小学校・港中学校を中心とした気比の浜・田結の浜での清掃活動を記載した。川清掃については、複数団体に記事作成を依頼したが、川清掃という趣旨で活動を実施していない、会を解散されたといった状況があり、記事を提供いただける団体がなく、掲載が難しいと判断した。2024年度報告書には、浜清掃の活動事例のみ掲載し、次年度以降に川清掃の事例を紹介したいと考えている。委員の皆様には、清掃活動を実施している団体や活動の情報があれば、事務局に共有いただきたい。

トピックスの「アユ産卵場造成事業」の推移として、面積の拡大状況(豊岡河川国道事務所提供)を記載し、評価に「アユ産卵場造成事業の取組みにより、産卵場は拡大し、川の環境が整備されている。」と追記した。

評価の「子どもたちの川での体験活動が定着している」という項目の事例記載がないとの意見を受け、トピックスに「コウノトリKIDSクラブの活動」を追記した。

<目標像⑩>

「(1)環境経済認定事業」の業種別内訳を追記し、新規事業者であることが分かるように表現を修正した。

トピックスの「プラントベース食」の説明を追記した。

評価の「認定の取り下げがない」について「近年」を追記した。

【会長】今の説明について、質問や意見等があれば。

【委員】目標像①の評価項目で「森林が荒廃している」という表現は、言い過ぎではないか。例えば「荒廃が進んでいるが、食い止められていない」くらいの表現はどうか。

目標像③「(5)休耕田の利活用」の説明に主語がない。

目標像④の活動事例について、清掃活動の主体が港小学校と中学校で、参加者にこども園も含まれ、2カ所に学校名の記載があるが、タイトルの学校名の記載はなくてもいいのでは。

目標像⑨のトピックスについて、ハチドリ電力のウェブサイトの日高神鍋観光協会の活動がわかりやすく掲載されていた。知らない人もいるので、ハチドリ電力のURLを掲載してはどうか。

目標像⑩のトピックスについて、表現「販売を目指していかれます。」を、他と

表現を統一して「販売を目指していきます」としてはどうか。

【会 長】目標像①の評価の文言について、他の委員から意見があれば。

【委 員】今までからこの表記となっている。「評価」として、「良くはなっていない」「荒廃している」ということならこれでいいと思う。前にいろいろと付け足すとブレてしまう。考え方がいろいろあると思うが、豊岡の山が全部まるはげの状態を荒廃と呼ぶのか、どこか1カ所を見たときに荒廃しているというのか。後者は当然あると思うが、一部の地域だけではなく市全体の話をしているの、その上でも、どちらかといえば荒廃しているというのは間違っていないと考える。

【委 員】「荒廃が進んでいる」と言う方が、危機感が出るのではないか。

【委 員】一方で、市も県も国も一生懸命、再造林を進めたり、荒廃を止めようという努力は様々な施策の中でやっている。「ただ荒廃に向かっているのではなく、止めようとしています」ということで、どこまで書きぶりにこだわるかだが。

【会 長】間をとるというわけではないが、「荒廃している」は強い表現ではあるため「荒廃は食い止められていない」はどうか。

【委 員】再造林や間伐整備などをやっており、何もしてないと捉えられるのは本意ではない。「森林が荒廃している」だけを読むと、確かに、委員がおっしゃったようなところもあるが、その前にそれを補完することが書いてあるので、全体で担保して、だけでも荒廃が進んでいますという表現で良いと思う。この評価項目は「森林環境譲与税を使って、適切な整備及び環境の維持が図られているが」というところが大切だと思う。

【会 長】文章全体で見ると、取組みは堅実に進められているが、まだ荒廃が止まっていないということだと思ふ。森林の荒廃自体は認められているが、現状が荒廃しているようなニュアンスが強いので、「図られているが、森林の荒廃は、食い止められていない」とさせていただきたい。

【会 長】目標像③「(5)休耕田の利活用」の本文で主語が抜けているという意見だが、利活用の主体を明示していただきたい。

【事務局】「多様な生き物を育む「ビオトープ水田」として農家等が、豊岡市と管理委託契約を結んでいます。」に修正させていただく。

【会 長】目標像④活動例についてだが、事務局はいかがか。

【事務局】小学校と中学校が主体となって実施をされている。こども園だけでなく地域の方も皆さん参加して実施されているため、タイトルはそのままにし、2行目の「豊岡市立港小学校、港中学校、港認定こども園」を削除する。

【会 長】タイトルをそのままにすると、小学校と中学校の行事のようになってしまう。複数の参加団体が挙がっているので、タイトルの再検討をお願いしたい。

【事務局】主催を確認して表現を修正する。

【会 長】目標像⑨トピックスへのURL追加と、目標像⑩トピックスの表現の修正を対応していただきたい。

## イ 第6部 2024年度の環境に関する取組みについて

### 豊岡市環境審議会の意見（今後の取組みに向けて）

【会長】「第6部」について、事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】「第6部」について、委員の皆様からいただいた意見と正副会長との打合せでいただいた意見を踏まえて整理した。前回からの変更点を説明する。

#### <目標像②>

「熊の出没」に関する注意喚起について意見があった。「市からの情報発信だけでなく、市民や事業者に対して、未然に防ぐ、被害を防ぐための行動や心構えなどを広く周知し、行政と市民が一緒になって、安全な環境を守っていくための働きかけを」という内容を追記した。

森林ツーリズムについて、第2部では来日山登山に限定する内容になっているが、全体をとということで「森林ツーリズムの主催者の高齢化が進み、コミュニティ組織等で支え合う仕組みを」という表現に修正した。

#### <目標像③>

新規の意見である「ビオトープの取組み」について、表現を整理し、「ビオトープの取組みは、生物多様性の保全において重要な役割を果たしています。引き続きビオトープを維持できるよう、積極的な支援と取組みを求めます。」と修正した。

#### <目標像⑦>

新規の意見として「プレーパークの設置」について具体的に意見をいただいたが、「子どもたちが自然に触れることができる活動場所の確保とともに、活動を支えるリーダーが活動できる体制の構築を期待します」と表現を修正した。

#### <目標像⑨>

太陽光発電のパネル等の耐用年数が来た後の処理について意見をいただいた。内容等を整理し表現を修正した。

#### <目標像⑩>

環境経済認定事業についての意見が複数あり、集約した。

【会長】第2回審議会での意見を受けて、事務局で修正をしていただいた。何か補足や修正等の意見があれば。

【委員】太陽光発電に関する意見について、事務局に要点をまとめて整理していただいた。内容的に問題ない。

【委員】目標像②「学校給食への提供や市民へジビエ料理を普及する機会の創出」とあるが、先日、鳥取市のジビエ推進協議会の視察に行った際に、鳥取市も給食への提供を一旦は進めたが、散弾銃の欠片が食肉(鹿肉)に混ざり、子どもの口に入ってしまう、そこから給食の利用はやめたという話があった。個人的に他の飲食店の方にも聞いたが、やはり、欠片の混入は避けられないと。金属探知機を通して欠片では探知が難しいと。そもそも鹿肉は鉄分が多く金属探知機が鳴ってしまう。そういった現状があり、学校給食に提供というのは、まだまだ現実的でない、今は時期尚早かなと思っている。「学校給食への提供」は削除でよ

いのは。猟師の方が射殺した後の処理を困っている。埋設処分が求められているが、減容化施設の建設や処理のことをもう少し踏み込んで書いてもらえたらと思う。

【会 長】事務局はいかがか。

【事務局】審議会の意見として挙げていただいているので、今のご意見のように学校給食への提供を求めるのはまだ早いということであれば、そこを削除した意見として整理させていただく。

【委 員】「事業者による肉や皮の有効活用に向けた具体的な検討を進めてください」と間を抜いた文章でよいのでは。

【事務局】その意見に修正する。

## (2) 豊岡市生物多様性推進部会について（報告）

【会 長】豊岡市生物多様性推進部会についての報告に移る。事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】2025年度生物多様性推進部会について報告する。

部会では、生物多様性地域戦略「短期目標Ⅲ」の目標達成状況の確認と取組みの評価、それらに関する意見・提案をいただいている。短期戦略の「効果を高める」取組みとして、今年度から会議を2回（5月、1月）開催し、取組みを一層進めていくこととした。

また、ワーキンググループを設置し、外来種対策の取組みを行っている。

短期戦略Ⅲの目指すべき5年後の姿として、5つの作戦を進めている。それぞれについて、委員から意見や提案があった。

【会 長】この部会の立ち上げは昨年度だったか。

【事務局】部会は2023年度から開催している。

【会 長】今年度から会議を1回増やし、その中で、作戦1から4について意見をいただいたということか。環境審議会からは、副会長が部会委員として参加いただいているので、部会での意見など伝えていただければ。

【委 員】今回、外来種ワーキンググループが立ち上がり、ハンドブックを作成している。まだまだこれから外来種対策を進めていくスタート地点なので、市長に音頭をとっていただきたいと考えている。

【会 長】外来種ハンドブックはいつ完成予定か。

【事務局】3月に完成予定。来年度から活動時等に配布し、活用しながら活動を行っていく。外来種ハンドブックは、ワーキンググループで意見をいただき、基本、小学校3年生以上の子どもが保護者と一緒に活用いただくように、対象を少し絞った形で作成を進めている。

【委 員】作戦4でコウノトリ文化館に関する記載があるが、放鳥直後と比べると確かに来館者数は減っているが、アンケートなどを見ても全体的に減っており「特に市民の来館者が減っている」とは言い切れない。

文化館でしか体験できないことについては、文化館でも努力はしている。コウ

ノトリも大事だが、特に豊岡や但馬の自然は豊かであり、コウノトリ以外の生物に対しても焦点をあて、コウノトリを含めた環境全体を保護していく必要があるという姿勢は独自性であると思っている。ただ、視点もいろいろあるため、皆さんから具体的な意見いただけると、ありがたい。

【委員】部会では、市とコウノトリ文化館だけ頑張ってもという意見が出ていた。やはり県と一緒にやって来館者を増やしていくような取組みをしていくため、しっかりコミュニケーションをとる必要があると意見があった。実現するかわからないがオープンな会議を文化館ではどうかという提案もあった。

【委員】県の敷地の中に豊岡市の文化館があり、指定管理を受けて運営しているが、実際なかなか連携が取れてないところもある。先ほどのオープンな会議を文化館でしていただけるというご提案は非常にありがたいと感じる。

【委員】「作戦2行動に移す」について、達成状況の確認が行われているかと思うが、実際にどういった活動があるかという話や、その取組みに対する評価などはされているのか。

【事務局】今回の資料には作戦名とその意見だけ掲載しているが、それぞれに目標値設定があり、数値実績やそれに対する市としての取組みを示した上で、アドバイスや意見をいただいている。

### (3) 脱炭素施策の取組み状況について（審議）

【会長】脱炭素施策の取組み状況について事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】脱炭素施策の取組状況として、2025年度施策及び2026年度施策（案）を説明する。

【会長】脱炭素施策について今年度の報告と次年度の展開予定について説明があったが、質問があれば。

【委員】脱炭素政策を計画に基づいて、毎年、いろんな努力をして進められてきたことにまず敬意を表したい。

新規事業で人材育成として脱炭素アカデミーを全6回今月末まで継続的に開催され、人数も10～16人ぐらい、この種の企画としては少なすぎるということもなく、豊岡市にふさわしい規模で開催されている。個人的にグループワークの結果を1度拝見したい。2月28日がまとめのワークショップとなるので、3月以降もこのアカデミー受講者が継続して脱炭素の問題に取り組めるような、グループやサークルなどの仕掛けを残していただきたいというのが大きな要望である。新年度に関する記載で、この人材育成の話がどう続いていくのかが見えなかったので少し心配になった。

住宅用太陽光発電の設置について、昨今メガソーラーの問題はいろいろあるが、少なくとも屋根の上への設置に関しては自然破壊はないと思うので、ぜひ、新年度以降も手を抜かずに着実に進めていただきたいと考えている。

脱炭素先行地域に豊岡市は何回かチャレンジしており、思うような結果が出ていないが、最終選定という噂もある。採択されたら神鍋高原を中心として着実

にこの脱炭素化観光地域づくりが実現に向かうように、万が一、不採択となったとしても様々な補助金を活用してこの提案に近い内容のことが実現すると良いと思う。私もできることがあればお手伝いするので、声を掛けてほしい。

【事務局】脱炭素アカデミーは、今年度初めて開催し、人材育成とコミュニティの形成も目的の1つとしているため、仕掛けをうまく考え、交流が続くように努めていきたい。脱炭素アカデミーは、脱炭素先行地域の結果に関わらず、今後も続けていきたいと考えている。

太陽光発電は、制度としては基本的には屋根に載せる太陽光発電への補助金の形で今後も続けていく。

脱炭素先行地域は、現在応募している第7回の結果が今月出ると聞いている。選定されれば資料に掲載している事業は着実に進めていきたい。もし不採択となったときには、また新たな方向性を考えていきたい。

【委員】先ほど、第6部の意見でも申し上げたが、東日本大震災の後から、全国で太陽光パネルの設置が進められ、豊岡市もいち早く取り組み、大規模な太陽光発電所を所有している。資料を見ると、どの施設も2012年から2015年に設置されており、メンテナンスをすれば少しは延ばせるが、耐用年数(20~30年)を考えると、早いものだとそろそろ撤去について考える時期になってくる。現在の方向性として、単純に言う「埋め立て」なのか、「リサイクル」なのか、市としてどんな方法を考えているか、きっちりと理論立てをして、原課としての意見を考えていただきたい。正確な試算は必要だが、埋め立て処分で1kw約2,000円、リサイクルだと8,000円~1万2,000円という数字があったと思う。最大出力の足し算で考えると大体3,000kw、それに単純に1万2,000円を掛けるとおそらく3,400~3,500万円ぐらいの額がかかってくると思われる。特別会計で、それぐらいの予算はあったと思うが、そろそろ積立やメンテナンスと並行して、リサイクルや廃棄などの計画やロードマップを描いていく必要がある。市民も豊岡市なら何かいい解決方法を考えてくれるのではと期待していると思うので、「埋め立て」という安直な考え方ではなく、リサイクルなどより良い方法を検討していただきたい。市としての考えを出していかなければならない時期になっているため、この場で事務局の考えを聞きたい。

【事務局】前々から意見をいただいておりますが、内部でも議論をしているが、国の動向自体もまだ定まっていない部分もあり、国の動きも見ながら慎重に考えたい。経産省から2027年度中施行を目指したリサイクル法の話も出ているが、パネルを所有する発電事業者がリサイクルの責任を負う形になっていきそうだけの現状だと思うので、そのあたりも踏まえて考えていきたい。すでにリサイクルできるだけの予算を特別会計の中で積み立てており、金銭的な問題だけではなく、最大限リサイクルできるような形を考えていく必要がある。

【委員】先ほどの太陽光発電所の件だが、「埋め立て」というのは、パネルをどこかに埋め立てるということだと思うが、その時に今ある発電所はどうなるのか。その土地に埋め立てるという話か、それとも、どこか別の場所に埋め立てて、今

の発電所の場所に新しいパネルを設置するという認識でいいのか。

【事務局】太陽光発電所については、借地の施設もあり、埋め立てもリサイクルも専門業者が行うことで、同じところで埋め立てるわけではない。新しく設置して継続するかどうかを合わせて、検討していかないといけない。

【委員】ただ埋め立てるとなると安全のために有害物質を取り除く必要が出てくるため、その分の経費もプラスαでかかる。

【委員】脱炭素アカデミーの第5回ワークショップで、こんなアクションプランが出てきたなど少し提示していただきたい。

【事務局】第5回でまず意見を出し合い、それを第6回で整理していくため、具体的なプランとして出せるものはまだない。

【委員】環境省の脱炭素先行地域事業に採択されたらということだが、2026年度の主な取組みで太陽光発電所を検討中というのは、どこにどれぐらいの規模か。

【事務局】未利用地を利用した太陽光発電所の計画としては、日高町小河江に円山川の浚渫土砂を埋め立てた広い平地があり、一部は地域コミュニティがグランドゴルフに使っているが、その一部を利用したいと考えている。規模としては2MWのかなり大規模な発電施設となる。前提として、採択も計画も決まったわけではない。今は提案が採択されるかどうかで、実際にできるかどうかはこれから。

【会長】採択されれば計画の方向性で進められていくと思うが、もし採択されなかった場合また新たな計画を作るのか。

【事務局】脱炭素先行地域の募集としては最終回となる。採択されなければ、別の形で脱炭素を進めていく。

【会長】2026年度採択されなかった場合は、市の方で独自の計画を作るということか。その時はまた審議会で少し手を貸したりすることもできるのか。

【事務局】市の独自の計画を作るかどうかからまた考えていかないといけない。

【会長】2026年度予定されている取組みのうち、継続事業2～8までは進めるが、新規の環境省事業に採択されなかった場合には、代替りの物を作るかどうかを考えるとということで理解した。そういうことも含めて来年度第1回審議会で結果等を説明いただきたい。

【会長】それでは以上で審議を終わりたい。

#### 4 その他

【事務局】完成した環境報告書は市のホームページで公表する。

今年度末で環境審議会委員の任期が終了となる。委員改選に当たり、改めて意向を確認する。

また、第2次環境基本計画は、2026年度末をもって計画期間の10年が終了する。来年度は、環境報告書の審議と、第3次環境基本計画の策定に係る審議を行うため、会議の回数が増えるが、引き続きお願いしたい。

#### 5 閉会

・西垣副会長あいさつ